

令和 5 年度 2 月補正予算案

(一般会計補正予算 (第 7 号) 関連)

(琵琶湖流域下水道事業会計補正予算 (第 5 号) 関連)

主 な 事 業 概 要

琵琶湖環境部

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【琵琶湖保全再生課】</p> <p>琵琶湖総合保全対策費</p>	<p>△ 22,875 (181,573)</p> <p>国 △ 10,042</p> <p>寄 2,765</p> <p>繰 △ 12,394</p> <p>⊖ △ 3,204</p>	<p>1 早崎内湖再生事業 △ 22,326</p> <p>内湖再生に向けて、北区においては水陸移行帯の創出に係る造成工事等を行い、南区では今後の整備に向けた測量調査等を行う。</p> <p>155,306 → 132,980</p> <p>国の内示および入札執行残に伴う減額</p>
<p>【循環社会推進課】</p> <p>産業廃棄物対策事業費</p>	<p>△ 33,360 (159,800)</p> <p>国 △ 4,960</p> <p>使 △ 5,315</p> <p>繰 △ 3,098</p> <p>諸 △ 2,629</p> <p>⊖ △ 17,358</p>	<p>1 最終処分場特別対策事業 △ 22,318</p> <p>旧アール・ディエンジニアリング最終処分場について、引き続き周辺住民の安全・安心を確保するため必要な取組を行うとともに、跡地利用の検討やアーカイブ等の作成を進める。</p> <p>105,654 → 83,336</p> <p>事業量の減少および入札執行残に伴う減額</p> <p>2 産業廃棄物適正処理対策事業費 △ 6,278</p> <p>産業廃棄物処理業者やPCB廃棄物保管事業者等に対して、適正処理に関する指導、啓発等を行う。</p> <p>12,891 → 6,613</p> <p>事業量の減少および入札執行残に伴う減額</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【下水道課】</p> <p>汚水処理施設整備促進事業費</p>	<p>△ 6,211 (74,373)</p> <p>⊖ △ 6,211</p>	<p>1 下水道終末処理場高度処理施設維持管理費補助金 4,787 公共下水道の下水道終末処理場において、琵琶湖の富栄養化を防止するため、窒素・リンの除去を行う高度処理施設の維持管理事業に対して補助金を交付する。</p> <p>12,000 → 16,787 補助対象事業実績に応じた増額</p> <p>2 汚水処理施設整備接続等交付金 △ 10,998 公共用水域の水質保全を図るため、汚水等の汚濁負荷削減を目的とした4つの事業を実施する市町に対して支援を行う。</p> <p>62,373 → 51,375 交付対象事業実績に応じた減額</p> <p>(1) 公共下水道接続事業 △ 1,022 (26,124) (2) 浄化槽設置整備事業 △ 5,624 (20,788) (3) 公共下水道整備事業 △ 3,749 (13,399) (4) 公共下水道高度化事業 △ 603 (2,062)</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【森林政策課・ びわ湖材流通推進課・ 森林保全課】</p> <p>森林計画費</p>	<p>△ 65,760 (112,533)</p> <p>国 △ 61,680</p> <p>⊖ △ 4,080</p>	<p>1 森林情報デジタル化推進事業 △ 61,680 航空レーザ計測データをもとに、高精度に地形や資源の解析等を実施し、森林情報のデジタル化とその活用による業務の効率化を図り、主伐・再造林を主体とする森林資源の循環を促進させる。</p> <p>86,680 → 25,000 国の内示に伴う減額</p>
<p>琵琶湖森林づくり事業費</p>	<p>△ 43,832 (1,549,009)</p> <p>財 23</p> <p>寄 50</p> <p>繰 △ 43,772</p> <p>⊖ △ 133</p>	<p>1 陽光差し込む健康な森林づくり事業 △ 21,213 森林の公益的機能を高めるため、環境林の整備や除間伐を行うとともに、水源林保全巡視員の配置などを行う。</p> <p>462,287 → 441,074 現地精査に伴う事業区域等の変更等による減額</p> <p>2 災害に強い森林づくり事業 △ 5,900 風倒木等被害対策としての予防伐採の実施や、里山における獣害防止機能の強化により、災害に強い森林づくりを目指す市町の取組を支援する。</p> <p>13,000 → 7,100 事業量の減少に伴う減額</p> <p>3 未来へつなぐ木の良さ体感事業 △ 6,291 県産材（びわ湖材）に対する県民、事業者、建築士等の理解促進と利用拡大を図るため、住宅等、建築物の木造化・木質化をはじめ、新たな製品開発、産地証明等の取組に対して支援するとともに、木育や脱炭素の普及啓発を実施する。</p> <p>165,955 → 159,664 事業量の減少に伴う減額</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
林業・木材産業高度化 対策費	14,071 (32,570) 国 14,096 ⊖ △ 25	1 次世代苗木生産システムの構築事業 14,348 森林資源の循環利用の確立に向けて、優良な林業用種苗の生産のため、採種園の造成やコンテナ苗生産施設等の整備に対して支援する。 7,900 → 22,248 国補正予算を活用した事業の実施
林野関係公共事業	△ 164,395 (2,622,941) 国 △ 81,263 分 △ 5 起 △ 82,800 ⊖ △ 327	1 補助治山事業費 △ 160,256 森林における災害の復旧・予防を行う。 1,550,000 → 1,389,744 国の内示に伴う減額

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【自然環境保全課】</p> <p>自然公園等管理費</p>	<p>△ 50,320 (155,406)</p> <p>国 △ 26,550</p> <p>使 5,363</p> <p>寄 599</p> <p>起 △ 22,400</p> <p>⊖ △ 7,332</p>	<p>1 自然公園施設等整備事業 新旭浜園地の再整備を行う。</p> <p>△ 59,000</p> <p>59,000 → 0</p> <p>国の内示に伴う減額</p>

琵琶湖流域下水道事業会計

＜収益の収入および支出＞

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	補正後の額	説明
琵琶湖流域下水道事業収益	営業収益	9,023,304	△ 465,892	8,557,412	市町維持管理負担金 △448,461 水量減に伴う負担金収入の減 8,774,004 → 8,325,543
	営業外収益	11,657,429	853,365	12,510,794	他会計補助金 +599,007 物価高騰に係る補助の増 2,279,798 → 2,878,805 長期前受金戻入 +193,446 償却対象資産の増に伴う増 9,327,351 → 9,520,797
	小計 A	20,680,733	387,473	21,068,206	
琵琶湖流域下水道事業費用	営業費用	20,873,945	△ 59,584	20,814,361	管渠費・ポンプ場費・処理場費 実績に応じた減 △362,107 8,911,691 → 8,549,584 総係費 + 45,250 維持管理等に係る人件費の増 382,800 → 428,050 減価償却費 +271,376 償却対象資産の増に伴う増 11,379,603 → 11,650,979
	営業外費用	569,307	△ 35,093	534,214	支払利息および企業債取扱諸費 借入実績に応じた減 △ 35,152 568,904 → 533,752
	小計 B	21,443,252	△ 94,677	21,348,575	
収支差引	A - B	△ 762,519	482,150	△ 280,369	

＜資本的収入および支出＞

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	補正後の額	説明
資本的収入	企業債	3,352,000	△ 496,500	2,855,500	建設改良費の減に伴う、企業債、国補助金、市町建設負担金の減
	出資金	891,734	△ 64,904	826,830	
	補助金	6,773,946	△ 433,604	6,340,342	
	負担金	2,191,120	△ 279,047	1,912,073	
	固定資産売却代金	—	59	59	
	小計 C	13,208,800	△ 1,273,996	11,934,804	
資本的支出	建設改良費	11,434,301	△ 1,010,726	10,423,575	建設事業費 △922,480 対象工事の減に伴う減 11,134,744 → 10,212,264 建設総務費 △ 75,046 建設事業に係る人件費の減 258,545 → 183,499
	企業債償還金	3,778,944	—	3,778,944	
	返還金	38,255	△ 14,007	24,248	
	小計 D	15,251,500	△ 1,024,733	14,226,767	
収支差引	C - D	△ 2,042,700	△ 249,263	△ 2,291,963	